

豊田市博物館コレクション展示

「藤井達吉と小原和紙工芸」「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」 開催結果について

【総括】

- ・開館後初のコレクション展示として、前期は、近年寄託を受けた藤井達吉の優品と和紙のふるさとが所蔵する達吉の直弟子たちの作品を展示した。後期は、豊田市を代表する文化財である長興寺所蔵「織田信長像」と当館所蔵「長篠・長久手合戦図屏風」を展示した。
- ・前期の展示では、藤井達吉が1932～35年にかけて制作した作品を展示した。作品の寄託者は、親子2代にわたり藤井達吉の支援者であった挙母の旧商家で、西加茂郡を代表する商業地であった挙母の商人たちが藤井のような芸術家を支援する財力を築いていたことを明らかにした。また、藤井から直接の指導を受けた5人の弟子の代表作を展示し、藤井と弟子たちが農閑稼ぎとしての森下紙の生産が中心であった小原和紙を芸術品の域まで高めたことを明らかにした。
- ・後期の展示では、関連作品として神戸市立博物館蔵「織田信長像」と犬山城白帝文庫蔵「長篠・長久手合戦図屏風」をパネル展示し、当館で保管している作品との違いや類似部分を見てもらった。展示室内に双眼鏡を設置することで、信長像の衣服の模様や、屏風内の登場人物の表情など、肉眼では分かりにくい部分を紹介することができた。
- ・前期と後期の展示内容を紹介したりリーフレットを作成し、展示室内で配布した。また、後期では「長篠・長久手合戦図屏風」の登場人物の一覧を作成し、展示室内で配布した。織田信長像の塗り絵を作成し、子どもを中心に配布した。
- ・観覧者数は16,296人（内覧会含む）で、そのうち前期が5,229人、後期が11,067人であった。観覧者の年齢層は10代・50代・70代が多かった。観覧者の推移としては、会期全体の平均は354人/日であったが、前期は174人/日、後期は692人/日であった。後期は「織田信長像」の公開もあり、土日を中心に観覧者数が多かった。

- ◆会 期 「藤井達吉と小原和紙工芸」
2025年4月26日（土）～5月25日（日） 30日間
「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」
2025年5月31日（土）～6月15日（日） 16日間
- ◆会 場 展示室2
- ◆観覧料金 企画展観覧券及び常設展観覧券にて観覧可
企画展観覧料金：一般：1,000円、高大生：800円、中学生以下無料
※前売り及び20名以上の団体は200円割引
常設展観覧料金：一般：300円、高大生：200円
- ◆主 催 豊田市博物館

■観覧者数 16,296人（1日あたり354人）

「藤井達吉と小原和紙工芸」 5,229人（1日あたり174人）

「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」 11,067人（1日あたり692人）

【講演会】

■「信長の城と合戦」

日時：2025年6月7日（土）午後2時～午後3時30分
 講師：千田嘉博氏（名古屋市立大学高等教育院教授）
 会場：豊田市博物館 セミナールーム（要事前申込）
 参加者：113人（定員100人）
 料金：無料

【ギャラリートーク】

■第1回

日時：2025年6月13日（金）午後2時30分～午後3時
 案内：本展担当学芸員
 会場：豊田市博物館 展示室2（事前申込不要）
 参加者：120人
 料金：無料（ただし観覧券が必要）

■第2回

日時：2025年6月15日（日）午後1時30分～午後2時
 案内：本展担当学芸員
 会場：豊田市博物館 展示室2（事前申込不要）
 参加者：110人
 料金：無料（ただし観覧券が必要）

■広報事業実績

- ・有料広告については、web 広告、新聞広告（後期のみ）を行った。アンケート結果から、新聞・雑誌を見ての来館が前期は17%であったが、新聞広告を行った後期では20%となった。また、後期にInstagram上で12回の更新（前期は3回）を行ったことから、SNSの閲覧を通しての来館が前期は7%だったのに対し、後期は14%となった。
- ・HPを見ての来館が約2割で、設問の中では回答数が多く、HPを見て来館していることから、HPの内容については、引き続き時宜を得た更新・発信を続けていく。

広報実績：新聞掲載（広告含む）＜中日新聞、毎日新聞＞、テレビ＜メーテレ＞

	媒体	媒体種別	タイトル	掲載日（放送日）	発行(放送)
1	新聞	記事	藤井達吉らが手掛けた小原和紙工芸を展示	5月7日	中日新聞
2	新聞	広告	豊田市博物館コレクション展示	5月28日	中日新聞
3	新聞	記事	代表的な信長像細部まで鑑賞を	5月30日	中日新聞
4	新聞	記事	織田信長の肖像画を公開	5月31日	毎日新聞
5	新聞	記事	豊田のお宝見逃すな	6月6日	矢作新報
6	新聞	記事	待望の「織田信長像」登場	6月6日	矢作新報
7	新聞	記事	ご存知「信長像」公開	6月6日	新三河タイムズ
8	新聞	広告	豊田市博物館コレクション展示	6月8日	中日新聞
9	テレビ		日本史の教科書などでよく見る織	6月11日	メーテレ

			田信長の肖像画 一風変わった鑑賞方法で公開		資料 2
10	新聞	記事	織田信長肖像画と与語正勝	6月20日	矢作新報
11	WEB	記事	特別公開 重要文化財「織田信長像」と「長篠・長久手合戦図屏風」		西三河ぐるっとナビ

(参考) ポスター・チラシ送付先

全国の博物館等 188 件
 市内公共施設 252 件 (市内小中学校・交流館・支所含む)
 その他 98 件

■アンケート

調査日：4月26日(土)～6月15日(日)
 調査方法：展示室2内に紙アンケート記載機を設置し、自由記入
 集計枚数：「藤井達吉と小原和紙工芸」 91 枚
 「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」 208 枚

【アンケート結果より】

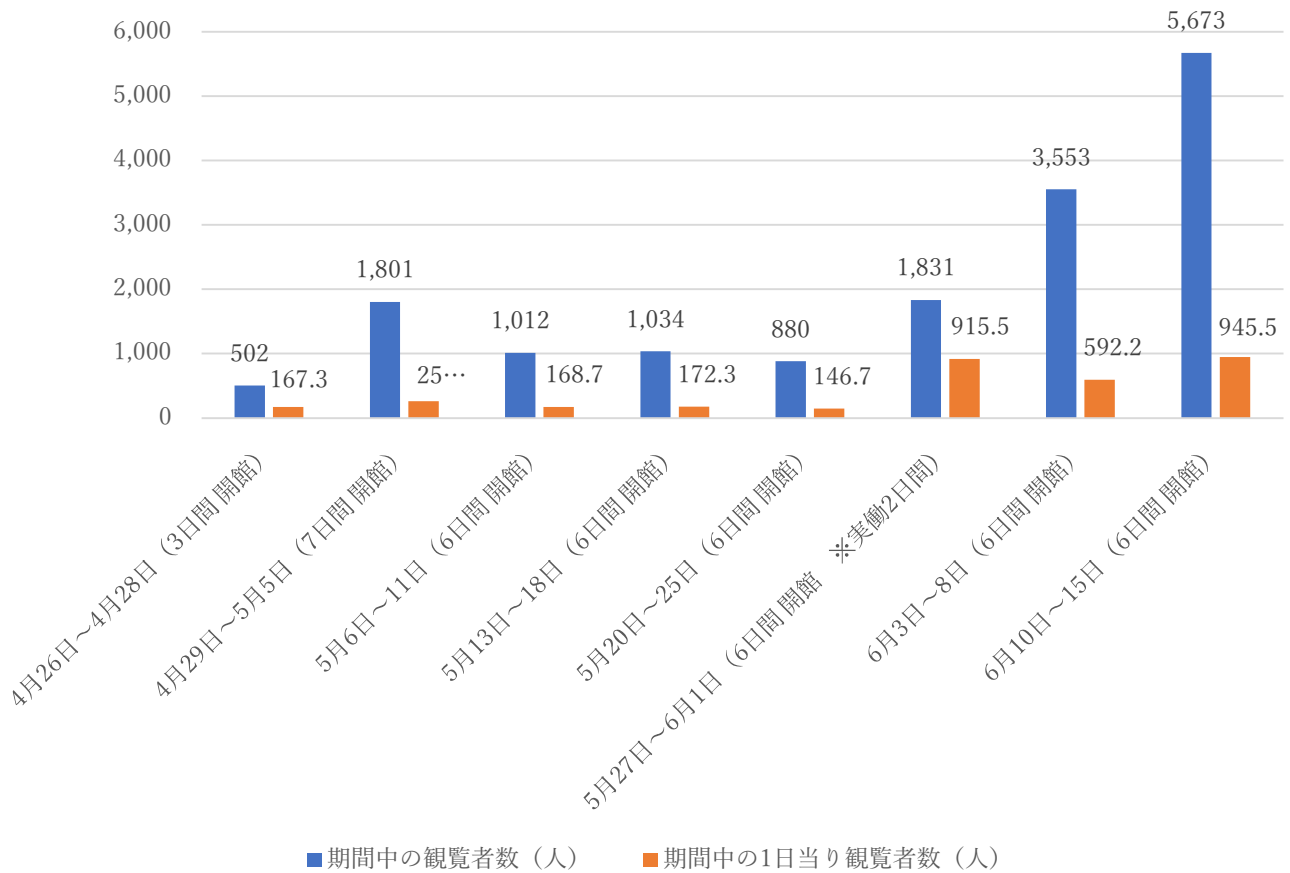
○「藤井達吉と小原和紙工芸」

- ・来館者の年齢層については、10代～40代が46%、50代～80代が54%であった。しかし、学校単位で来館する博物館学習の影響もあってか、10代について、全体の21%を占めていた。20代・30代の来館が割合としては少なく、この年代への来館アプローチが課題である。
- ・豊田市内からの来館者が74%、豊田市を含め愛知県内からの来館者が96%と非常に多い割合を占めている。一方、全体の約3%が県外からの来館者であり、HPを見ての来館が多かった。
- ・また、来館理由について、HPが多くを占めているが、「その他」において、学校で知った、ポスターやチラシを見たという意見が多く、チラシ配布が有効であることがわかった。
- ・展覧会の満足度は、5(良)→1(悪い)の評価順で、「4・5」が全体の86%を占め、多くの方に高い満足度での評価をいただいた。一方で、「1～3」の低い評価が4%あり、今後の展覧会を行う上で、作品の点数や展示手法など、検討すべき意見もいただいた。

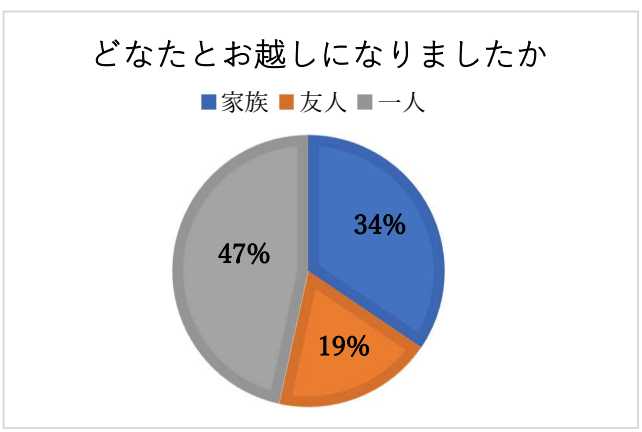
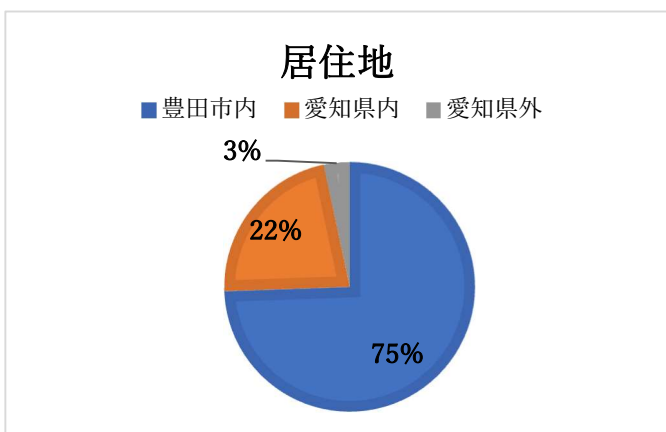
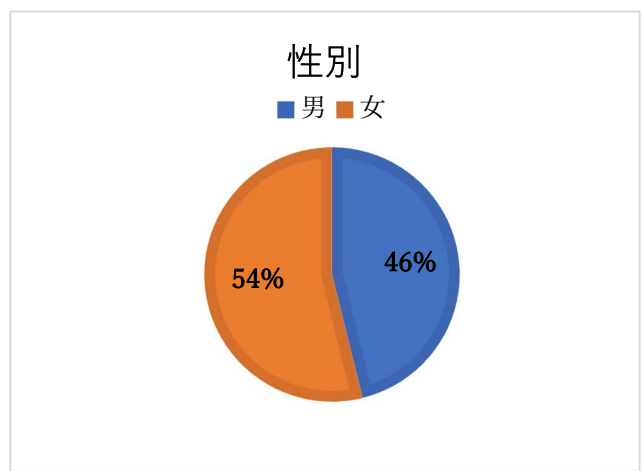
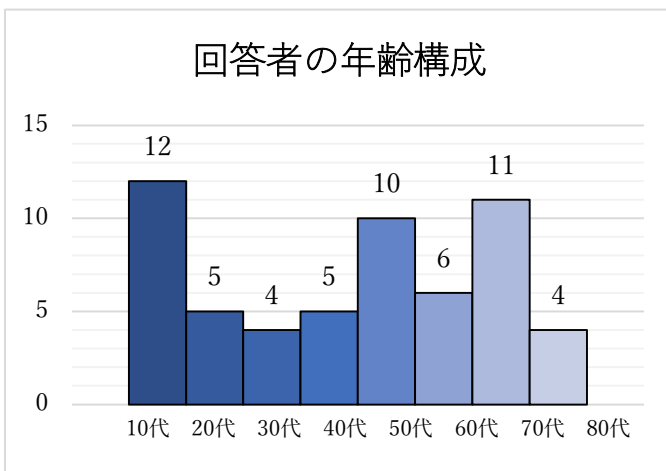
○「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

- ・来館者の年齢層については、10代～40代が45%、50代～80代が54%であった。40代～70代の来館が多く見られた。
- ・豊田市内からの来館者が68%、豊田市を含め愛知県内からの来館者が91%と非常に多い割合を占めている。一方、全体の約9%が県外からの来館者であり、HPやSNSを見ての来館が多かった。
- ・また、来館理由について、HPが多くを占めているが、「その他」において、家族や知人に聞いたという意見が多く、「織田信長像」が著名であることから、口コミで広がったと考えられる。
- ・展覧会の満足度は、5(良)→1(悪い)の評価順で、「4・5」が全体の94%を占め、多くの方に高い満足度での評価をいただいた。一方で、「1～3」の低い評価が6%あり、今後の展覧会を行う上で、展示手法や来館者の写真撮影マナーなど、検討すべき意見もいただいた。

観覧者の推移（会期：前期28日間 後期14日間）

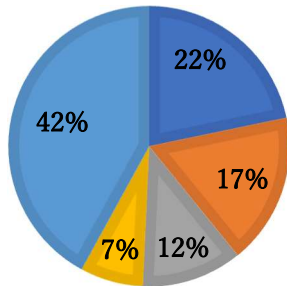


「藤井達吉と小原和紙工芸」



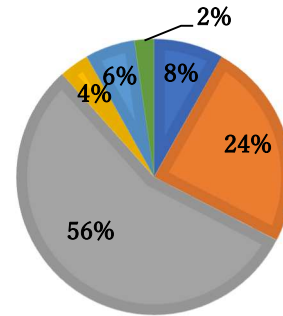
どのように知りましたか

■ ホームページ ■ 新聞・雑誌 ■ 広報とよた
■ SNS ■ その他



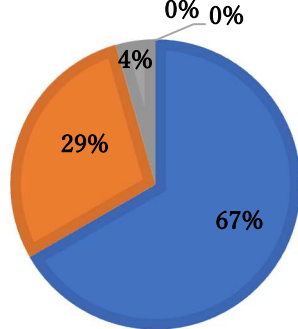
交通手段

■ 電車 ■ バス ■ 自家用車 ■ 自転車 ■ 徒歩 ■ その他



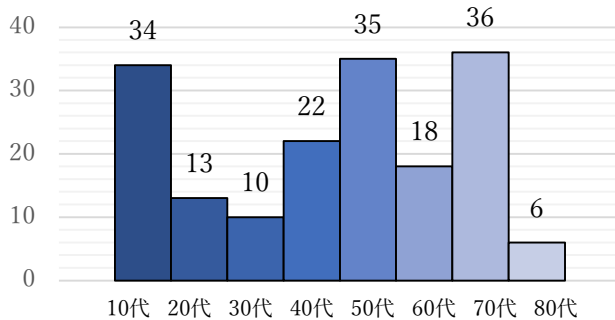
満足度

■ 5 (良い) ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 (悪い)



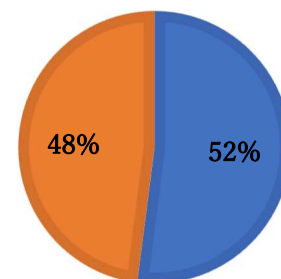
「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

回答者の年齢構成



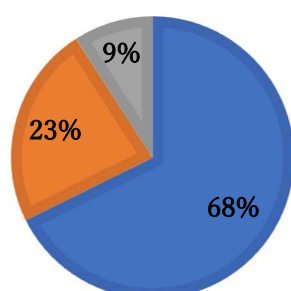
性別

■ 男 ■ 女



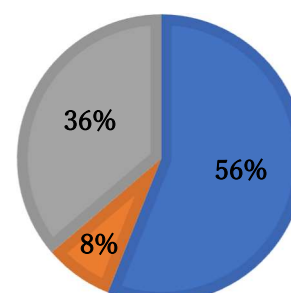
居住地

■ 豊田市内 ■ 愛知県内 ■ 愛知県外



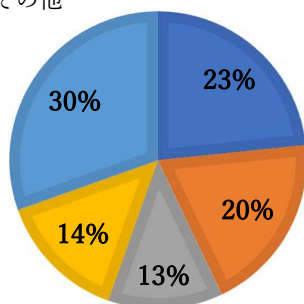
どなたとお越しになりましたか

■ 家族 ■ 友人 ■ 一人



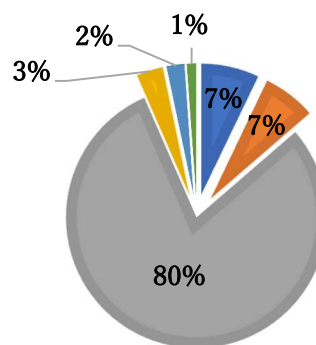
どのように知りましたか

■ ホームページ ■ 新聞・雑誌
■ 広報とよた ■ SNS
■ その他



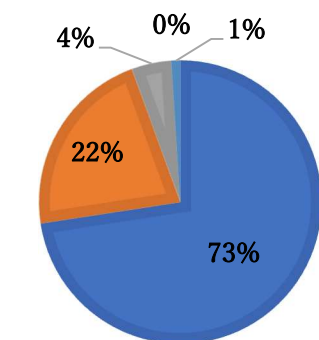
交通手段

■ 電車 ■ バス ■ 自家用車 ■ 自転車 ■ 徒歩 ■ その他



満足度

■ 5 (良い) ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 (悪い)



■ 成果指標

※評価 (達成率) …S (目標値の 110%以上)、A (標準、90%~110%)、B (70%~90%)、C (70%未満)

項目	目標	実績	評価 達成率	分析
1 観覧者数	前期:4,000 人 後期:12,000 人 計:16,000 人	前期:5,229 人 後期:11,067 人 計:16,296 人	A 102%	前期は小原和紙のふるさとの展覧会観覧者数を参考に4,000人とし、後期は前回の織田信長像展示の際の観覧者数12,000人を目標とした。結果として、目標を超える16,296人の観覧者を得た。特に、後期は、692人/日の観覧者を得ることができた。
2 満足度	5段階評価における平均値「4」	平均値「4.64」	S 116%	初のコレクション展示で博物館所蔵資料を紹介することができた。特に後期には、双眼鏡を用意したので、教科書等で有名な作品をまじかで見ることができたと好意的な意見が多かった。